

3. 研究方針の構成の変遷

「研究方針」は、国総研の職員一人一人が使命や研究活動の方向・視点などについて共通の認識を持つためのものであり、解決すべき技術政策課題やその研究目標を明らかにするとともに、目標を達成するための研究の進め方を示すものである。社会情勢の変化や研究のニーズ及び進捗状況を踏まえ必要に応じ見直しを行っている。

【平成13年7月】

1 国土技術政策総合研究所の使命

2 研究活動の方向と視点

2.1 時代の潮流の反映

2.2 行政との連携と国民の視点

2.3 学際的な研究領域

2.4 総合的な取組み

3 重点的に取り組む研究課題

3.1 7本の柱と16の技術政策課題

3.2 16の技術政策課題の背景と研究の目標

4 研究の進め方

4.1 研究活動

4.2 研究者の育成

4.3 研究評価

4.4 研究成果の発信

7本の柱と16の技術政策課題

1. 持続可能な社会を支える美しい国土の形成

① 国土形成史を踏まえた今後の国土マネジメント

② 地球環境への負荷の軽減

③ 住宅・社会資本のストックマネジメント

④ 良好な環境の保全と創造

2. 安全で安心な国土づくり

⑤ 災害に対して安全な国土

⑥ 安心して暮らせる生活環境

3. 豊かでゆとりある暮らしの実現

⑦ 快適で潤いのある生活環境の形成

⑧ 住民参加型の地域マネジメント

⑨ 豊かでゆとりある住宅等の市場基盤整備

4. 活力ある社会、個性ある地域の創造

⑩ 人の交流の円滑化と物流の効率化

⑪ 都市・地域の活力の再生

5. 住宅・社会資本整備マネジメント手法の向上

⑫ 技術基準・契約方式等の高度化

⑬ 政策及び事業評価手法の高度化

6. 高度情報化社会に対応した国土づくり

⑭ ITの活用による活力ある社会の構築

7. 国際社会への対応と貢献

⑮ 国際貢献の推進

⑯ 国際基準への戦略的対応

【平成16年3月】

1 国土技術政策総合研究所の使命

2 研究活動の方向と視点

2.1 時代の潮流の反映

2.2 行政との連携と国民の視点

2.3 学際的な研究領域

2.4 総合的な取組み

3 重点的に取り組む研究課題

3.1 7本の柱と17の技術政策課題

3.2 17の技術政策課題の背景と研究の目標

4 研究の進め方

4.1 研究活動

4.2 研究者の育成

4.3 研究評価

4.4 研究成果の発信

7本の柱と17の技術政策課題

1. 持続可能な社会を支える美しい国土の形成

① 国土形成史を踏まえた今後の国土マネジメント

② 地球環境への負荷の軽減

③ 住宅・社会資本のストックマネジメント

④ 良好な環境の保全と創造

2. 安全で安心な国土づくり

⑤ 災害に対して安全な国土

⑥ 安心して暮らせる生活環境

3. 豊かでゆとりある暮らしの実現

⑦ 快適で潤いのある生活環境の形成

⑧ 住民参加型の地域マネジメント

⑨ 豊かでゆとりある住宅等の市場基盤整備

4. 活力ある社会、個性ある地域の創造

⑩ 人の交流の円滑化と物流の効率化

⑪ 都市・地域の活力の再生

5. 住宅・社会資本整備マネジメント手法の向上

⑫ 技術基準・契約方式等の高度化

⑬ 政策及び事業評価手法の高度化

6. 高度情報化社会に対応した国土づくり

⑭ ITの活用による活力ある社会の構築

7. 国際社会への対応と貢献

⑮ 国際貢献の推進

⑯ 国際基準への戦略的対応

【平成18年7月】

1 国土技術政策総合研究所の使命

2 研究活動の方向と視点

2.1 時代の潮流の反映

2.2 国民の視点

2.3 学際的な研究領域

2.4 研究活動のマネジメント

3 重点的に取り組む研究課題

3.1 4本の柱と総合的な手法

3.2 安全・安心な社会の実現

3.3 誰もが生き生きと暮らせる社会の実現

3.4 国際競争力を支える活力ある社会の実現

3.5 環境と調和した社会の実現

3.6 国づくりを支える総合的な手法の確立

4 研究の進め方

4.1 研究活動

4.2 研究成果の活用

4.3 研究成果の発信

4.4 研究者の育成

4.5 研究評価

5 研究方針の見直し

4本の柱と総合的な手法

4本の柱

○ 安全・安心な社会の実現

(1) 自然災害に対して安全・安心な国土及び地域社会の構築

(2) 安全・安心に暮らせる日常の実現

○ 誰もが生き生きと暮らせる社会の実現

(3) 住環境・都市環境の改善と都市構造の再構築

(4) ユニバーサル社会の創造

○ 国際競争力を支える活力ある社会の実現

(5) 人・物のモビリティの向上

(6) 住宅・社会資本ストックの有効活用

○ 環境と調和した社会の実現

(7) 地球環境への負荷の軽減

(8) 美しく良好な環境の保全と創造

総合的な手法

○ 国づくりを支える総合的な手法の確立

(9) 総合的な国土マネジメント手法

(10) 政策及び事業評価の高度化

(11) 技術基準の高度化

(12) 公共調達制度の適正化

(13) 情報技術の活用

【平成23年7月】

1 国土技術政策総合研究所の使命

2 研究活動の方向と視点

2.1 研究活動の基本姿勢

(1) 行政ニーズへの即応

(2) 将来的な課題の洞察

2.2 研究に取り組む視点

(1) 社会変化への対応

(2) 多面的・多角的な考察

(3) 国の研究機関としての役割

3 重点的に取り組む研究課題

3.1 安全・安心な社会の実現

【自然災害への対応】

【安心に暮らせる日常の実現】

3.2 成熟社会への対応

【社会資本の戦略的維持管理】

【国土の将来像の展望】

【暮らしの豊かさの実現】

3.3 成長力・国際競争力の強化

【国際物流・人流動向を踏まえた社会資本整備】

【建設・運輸産業の海外展開】

3.4 環境と調和した社会の実現

【良好な環境の保全と創造】

3.5 地球規模の気候変動への対応

【気候変動への適応策】

【気候変動の緩和策】

3.6 国づくりを支える総合的な手法の確立

【行政の効率化】

【技術基準の高度化】

【高度情報化の推進】

【平成24年7月】

1 国土技術政策総合研究所の使命

2 研究活動の方向と視点

2.1 研究活動の基本姿勢

(1) 行政ニーズへの即応

(2) 将来的な課題の洞察

2.2 研究に取り組む視点

(1) 社会変化への対応

(2) 多面的・多角的な考察

(3) 国の研究機関としての役割

3 重点的に取り組む研究課題

3.1 安全・安心な社会の実現

【自然災害への対応】

【安心に暮らせる日常の実現】

3.2 成熟社会への対応

【社会資本の戦略的維持管理】

【国土の将来像の展望】

【暮らしの豊かさの実現】

3.3 成長力・国際競争力の強化

【国際物流・人流動向を踏まえた社会資本整備】

【建設・運輸産業の海外展開】

3.4 環境と調和した社会の実現

【良好な環境の保全と創造】

3.5 地球規模の気候変動への対応

【気候変動への適応策】

【気候変動の緩和策】

3.6 国づくりを支える総合的な手法の確立

【行政の効率化】

【技術基準の高度化】

【高度情報化の推進】

【平成25年7月】

1 国土技術政策総合研究所の使命

2 研究活動の方向と視点

2.1 研究活動の基本姿勢

(1) 行政ニーズへの即応

(2) 将来的な課題の洞察

2.2 研究に取り組む視点

(1) 様々な状況変化への対応

(2) 多面的・多角的な考察

(3) 国の研究機関としての役割

(4) 技術に対する社会の信頼の確保

3 重点的に取り組む研究課題

3.1 安全・安心の確保

【自然災害への対応】

【気候変動への適応策】

【社会資本の戦略的維持管理】

【安心に暮らせる日常の実現】

【交通・輸送システムの安全性・信頼性の向上】

3.2 持続可能で活力ある国土・地域の形成と経済活性化

【気候変動の緩和及びエネルギー問題への対応】

【良好な環境の保全と創造】

【国土の将来像の展望】

【暮らしの豊かさの実現】

【国際物流・人流動向を踏まえた社会資本整備】

【建設・運輸産業の海外展開】

3.3 共通基盤の創造

【行政の効率化】

【技術基準の高度化】

【高度情報化の推進】

【平成26年7月】

1 国土技術政策総合研究所の使命

2 研究活動の方向と視点

2.1 研究活動の基本姿勢

(1) 行政ニーズへの即応

(2) 将来的な課題の洞察

2.2 研究に取り組む視点

(1) 様々な状況変化への対応

(2) 多面的・多角的な考察

(3) 国の研究機関としての役割

(4) 技術に対する社会の信頼の確保

3 重点的に取り組む研究課題

3.1 安全・安心の確保

【自然災害への対応】

【気候変動への適応策】

【社会資本の戦略的維持管理】

【安心に暮らせる日常の実現】

【交通・輸送システムの安全性・信頼性の向上】

3.2 持続可能で活力ある国土・地域の形成と経済活性化

【気候変動の緩和及びエネルギー問題への対応】

【良好な環境の保全と創造】

【国土の将来像の展望】

【暮らしの豊かさの実現】

【国際物流・人流動向を踏まえた社会資本整備】

【建設・運輸産業の海外展開及び市場の創出】

3.3 共通基盤の創造

【行政の効率化】

【技術基準の高度化】

【高度情報化の推進】

【平成29年11月】

国土技術政策総合研究所の使命

住宅社会資本分野における唯一の国の研究機関として、技術を原動力に、現在そして将来にわたって安全・安心で活力と魅力ある国土と社会の実現を目指す。

基本姿勢

- 技術的専門家として行政の視点も踏まえ、国土交通省の政策展開に参画する
- 研究活動で培った高度で総合的な技術力を実務の現場に還元する
- 国土・社会の将来像の洞察と技術開発の促進により、新たな政策の創出につなげる

根幹となる活動

- 国土交通政策の企画・立案、普及を支える研究開発
- 災害・事故対応への高度な技術的支援と対策技術の高度化
- 地方整備局等の現場技術力の向上を支援
- 政策形成の技術的基盤となるデータの収集・分析・管理、社会への還元

研究の心構え

- 行政・現場の真のニーズを理解し、本質的な技術的課題を明確化
- 課題を突破する仮説と検証方法、社会実装への道筋を含めた研究計画を策定
- 得られた事実から研究全体の展開を見据え、柔軟に計画を見直し
- 知見を体系立てて取りまとめるとともに、現場で使える成果に昇華
- 成果の的確・円滑な社会実装に向けた戦略的な道筋を構築
- 実装の成果をフォローアップし、技術的課題を抽出して次なる研究に反映

研究を支える環境整備

- 質の高い研究を支えるマネジメントの仕組みの構築
- 技術を礎とし、研究と行政・現場の両面から政策展開を見通す人材の育成
- 住宅・社会資本分野の技術研究開発を支える実験施設等の保有・機能強化

